

石田元季

いしだもとすけ

國文學者。明治十年五月十七日京都市下京區生れ、

昭和十八年一月九日歿（八七—一九三）。筆名とあづさ、元人、元、力大

郎、或人、春風、春風居、春風生、次郎冠者、無用、燕石、石田春風、

蝗鷹、雲根等。明治二十二年文部省教員檢定國語科免許狀取得。愛知

縣第一中學校教諭となり同校教職員の雜誌『四の緒』編輯に當る。ま

た同僚の英語教師赤司嚙花（本名繁太郎、のち牧師）と共に、石田春

風の名を以て『神話概観天馬』（明治二十五年四月十五日岡崎屋書店）、

『北歐神話釋義』（明治二十五年八月十五日金港堂書籍株式會社）、『イ

リアツド概観の響』（明治二十七年一月十四日金港堂書籍株式會社）等

を譯編出版。（二十六年私立明倫中學校に轉ずると、四十年一中に復職。

大正九年愛知醫科大學豫科教授となり同大俳句會を主宰。十五年郷土

研究誌『紙笛』を創刊主宰（昭和四年終刊、全二十八冊）。昭和二年

月刊『國漢研究』創刊に參劃。十五年『俳文學考説』（昭和十二年五

月十七日全文堂）により帝國學士院賞受賞、同年名古屋國語國文學會

を結成主宰。

著書は他に『校定註釋鶉衣』（昭和二

年一月二十一日春陽堂）、『江戸

時代文學考説』（昭和二年六月十

五日中（西書房）、『草雙紙の心づ

く』（昭和二年十一月十日南宋

書院）、『鶉衣』

（校訂、昭和五

年十一月十日岩



（校訂、昭和五年十一月十日岩



校定註釋 鶉衣 石田元季編著

草雙紙の心づく 石田元季著

波書店「岩波文庫」）、  
「千代尼のおとがげ」（沼夜濤合口著、昭和九年九月十五日愛知・信濃會館）、  
「あなただ任せの一茶」（昭和十年七月七日愛知・信濃會館）、  
「李曼翁句集」（編、昭和十二年五月二十日愛知・岡田は奈刊）、  
「俳文學考說資料陳列目錄」（昭和十五年五月五日愛知・自刊）、  
「梵語輯」  
「張城人物志」（編、昭和十五年八月五日愛知・自刊）、  
「春風帖」（昭和十五年十一月十五日愛知・石田元季先生顕彰会）等。  
「石田元季先生遺傳錄」（昭和十九年十一月十日愛知・名古屋國語國文學會編刊）、  
石田元季先生華蹟調査・その系  
会「国文学者石田元季伝」（平成 年六月一日愛知・風媒社）がある。

